



平成 28 年 4 月 26 日

国土交通省中部地方整備局

応援対策本部

「平成 28 年熊本地震」への中部地方整備局の対応（第 10 報）**～「清龍丸」熊本地震の被災地支援を終え名古屋港に帰港～**

熊本地震災害に関し、大分港（大分県）で支援物資を引き渡し、三角港（熊本県）で給水、入浴支援等を行った中部地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「清龍丸」が、4月28日（木）に名古屋港に帰港します。

1. 支援活動の概要：

- 4月18日（月）10：00 名古屋港出港
- 4月20日（水）7：00 大分港到着 支援物資荷下ろし
（支援物資：ペットボトル（500ml）約2万本分、食料（約2,700食）、毛布等）
（支援物資は同日中に南阿蘇村等の被災地に到着）
詳細については別紙2参照
- 4月23日（土）17：00 三角港到着 給水・入浴支援等を実施
（給水 2,000リットル、入浴支援（延べ298人）等）
詳細については別紙3参照
- 4月26日（火）10：00 三角港 出港
- 4月28日（木）16：00 名古屋港 帰港（予定）
※名古屋港 金城ふ頭V3岸壁（別紙1参照）
※荒天等により帰港の時間が変わる場合があります。

2. 配布先：

中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

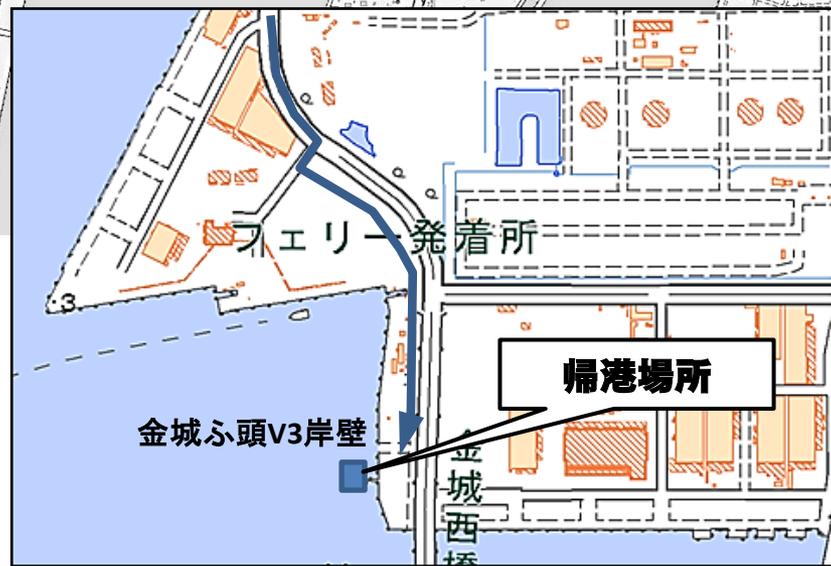
3. 問い合わせ先：

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
課長 恩田（おんだ） 又は 課長補佐 伊藤（いとう）
電話：052（209）6328

清龍丸帰港 場所



フェリーふ頭内は、シャーシやトレーラが通行します。フェリーターミナルに入りましたらハザードランプを点灯させた状態で、徐行運転をお願いします。



熊本地震災害の支援物資輸送のため、4月18日(月)10:00に名古屋港を出発した中部地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「清龍丸」は、4月20日(水)7:00に大分港に到着、7:40から支援物資の荷下ろしを行い、九州地方整備局に引き渡しました。

トラックに乗せられた支援物資は南阿蘇へ向け出発しました。

支援物資： ペットボトル(500ml)約2万本分、食料(約2,700食)、毛布 等



大分港 位置図



支援物資 荷下ろし状況



支援物資 荷下ろし状況



支援物資を乗せたトラックが南阿蘇へ向け出発

「清龍丸」による被災地での給水・入浴支援等の実施【中部】

熊本地震災害の支援のため、4月18日(月)に名古屋港を出発した中部地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「清龍丸」は、同月20日(水)に大分港で水、食料等の支援物資を荷下ろし(同日中に南阿蘇村等の被災地に到着)した後、三角港に移動し、同月23日(土)から25日(月)の3日間、給水、入浴、軽食、携帯電話充電等の支援を行いました。

主な支援実績 給水：24日(日)、九州地方整備局所属「海煌」へ2トン
入浴：延べ298名(支援時間：23日(土)18:00～21:00、24日(日)9:00～21:00、25日(月)9:00～21:00)
軽食：入浴された方のうち、希望者に船内で調理したカレーライスやうどん等を提供(入浴者の概ね8割が利用)
その他：入浴された方のうち、希望者に船内の施設(携帯電話充電・洗濯)を提供



給水支援(海煌へのポンプによる給水の状況)



清龍丸に乗り込む利用者



三角港へ入港した清龍丸



入浴支援(船内案内)の状況



入浴支援(軽食提供)の状況

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業（災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等）。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl（ドラム缶約5千本分）の油水を回収可能。